

総務経済常任委員会活動レポート

開催日：令和7年11月18日(火)

開催場所：岩谷学園ひがし北海道日本語学校

岩谷学園ひがし北海道日本語学校様との懇談会

岩谷学園ひがし北海道日本語学校様との懇談会を行いました。

まず初めに飯田校長先生より学校概要、誘致から開校、現在の状況説明を受け、その後、4グループに分かれて2年生の学生たちと中標津町で暮らしていくなかで感じた満足しているところや不便なところ、卒業後の進路希望などの意見交換を行いました。

校長先生からは、本町からの奨学金や留学生受入れへの支援に対して、学生たちは「地域の人が優しく、安心して学び働ける住みやすいまち」であることに深く感謝していて、一方で学校側は、そうした学生がアルバイト等を通じて人手不足の緩和や税収・消費の増加、各種行事への参加による地域活性化に貢献していると感じていて、町の支援と学校・留学生の力が相互に循環して中標津の魅力と活力を高めている関係性が確認されました。

○学生たちとの懇談内容を次のとおりまとめました。学生たちの意見を参考に今後委員会内で協議を進めていきます。

【満足している点】

- ・人が優しく町が静かで落ち着いている。
- ・アルバイト先が多い。
- ・勉強や生活しやすい環境が整っている。
- ・景色が美しく雪景色が楽しみ。
- ・食べ物がおいしい。母国の食材や調味料を購入できる。

【不便な点】

- ・バス路線の変更、運賃改定が分かりづらい。
- ・くまが怖い。
- ・バス停が遠い寮もあり自転車や徒歩で移動しているが、冬道や夜道が暗くて怖い。
- ・ごみの分別ルールがむずかしい。
- ・ごみを投げるなど、方言に戸惑った。

【休日の過ごし方】

- ・休日は「バイト」「勉強」「料理」などが中心。
- ・ダンス、サッカーなど運動施設を使いたいが、場所情報が不足と感じる。
- ・地域の人ともっと交流したいという声が多い。
- ・高齢者と一緒に料理・イベントをした経験が楽しかった。

【地域に不足していると感じるもの】

- ・交通インフラ（電車なし／バス本数の少なさ）。
- ・映画館、近代的なカラオケなど余暇施設が不足。
- ・レストランが週末に混雑し利用しづらい（予約必須）。

【進路希望について】

- ・都市部に進学しても「また中標津に戻ってきたい」という声もあったが、就職先が少ない。
- ・IT関係、旅行会社、ファッショングなど希望職にマッチする企業がほぼない。
- ・「中標津には仕事がない」という認識が強い。

【興味のある職種】

- ・建築関係、レストラン経営、IT分野、旅行会社、自動車整備。



授業の様子



懇談の様子



2年生の皆さんと